

健和会リハビリテーション部通信 2019年度 Vol.1

2019年6月21日(金)に2019年度法人リハビリテーション部活動報告会が開催されました。急性期から在宅まで、それぞれの部署での特色ある取り組みの発表がありました。どの発表も聞きごたえのある内容であり、質疑応答でも活発なやり取りがありました。参加者は計91名でした。

A 会場

- ① ICU 早期離床リハ加算の取り組み
◆大手町病院 ST 高田 誠
- ② 呼吸グループの取り組み
◆大手町リハ病院 PT 洗川 深雪
- ③ 当院の心臓リハビリテーション対象患者の傾向
～社会的側面に着目して～
◆大手町病院 PT 谷上 弘樹
- ④ 地域生活に基づいた誤嚥性肺炎予防への取り組み
◆戸畑けんわ病院 OT 仲尾 憂佳
- ⑤ 2018年度の取り組みの振り返り
◆大手町診療所 PT 吉田 真咲



B 会場

- ① 当院における予測FIMと退院時FIMの差についての分析～各運動項目を比較して～
◆戸畑けんわ病院 PT 大村 光
- ② 生活リズム構築の取り組み
◆京町病院 OT 萩原 成美
- ③ 生活内における麻痺手の使用拡大に向けて
◆大手町リハ病院 OT 井形 恵実
- ④ 外科手術後患者の離床と歩行自立状況及び身体機能の特徴
◆大手町病院 PT 奥 貴照
- ⑤ 脳卒中装具療法標準化に向けた取り組み
◆大手町リハ病院 PT 長野 弘枝



参加者アンケートより《一部抜粋》

- ・院所ごとの特徴に沿った内容だったので勉強になった。
- ・標準化をテーマに各職場で活発に活動していることを知れて、非常に刺激を受けました。初めて活動報告会の楽しさに気づかされました。
- ・他院・他部署の発表を聞くことが出来て、改めて健和会は各ステージで地域に根ざした取り組みをしていることがわかりました。いつもは自分の目の前の患者さんのことで精一杯なところがあるので、別のステージでのOTの取り組みを聞いて、新鮮な気持ちになったのと同時に、今のところでの知識・技術を磨かなければという思いと、別のステージ・部署でのOTとしての役割にも興味がわきました。